

夏休み読書チャレンジスタンプラリー 多読賞

夏休み期間中に実施した「夏休み読書チャレンジスタンプラリー」の、多読賞受賞者を発表します。たくさんのご参加ありがとうございました。表彰式は、11月12日(日)午前10時から南関町立図書館で行います。



<多読賞> (敬称略)

一 小			四 小		
1位…3年	いわさき たつのすけ 岩崎 龍之助さん	279冊	1位…3年	むらかみ かなで 村上 花奏さん	102冊
2位…3年	うらの かりん 浦野 花梨さん	274冊	2位…1年	やまぐち ちか 山口 千夏さん	73冊
3位…1年	ひえしま あやね 稗島 恵寧さん	145冊	3位…5年	さくの ももか 作野 桃花さん	49冊
二 小			中学校		
1位…2年	さかた せいな 坂田 聖奈さん	259冊	1位…2年	きど ここな 城戸 心絆さん	186冊
2位…4年	さかた あいむ 坂田 愛夢さん	255冊	2位…1年	おおさこ のりか 大佐古 紀香さん	172冊
3位…5年	そのばやし あすか 園林 明日香さん	44冊	3位…1年	ひえしま そらね 稗島 葵音さん	160冊
三 小			一般・未就学児		
1位…1年	さくた ゆづき 菊田 優月さん	330冊	1位…	こでら りく 小寺 利空さん	288冊
2位…6年	さかた あいな 城戸 碧渚さん	231冊	2位…	さかた れんか 坂田 蓮華さん	265冊
3位…2年	さかた みうな 城戸 美海さん	211冊	3位…	うらの そら 浦野 蒼空さん	147冊

問 南関町立図書館 ☎53-3746

編集：議会事務局

議会だより

令和5年第4回南関町議会定例会が
9月4日から8日までの5日間開かれました

議案番号	議 案 名	表 決	結 果
報告第3号	令和4年度南関町財政健全化判断比率の状況について	令和5年9月8日	報告
議案第41号	専決処分の報告及び承認を求めることについて(令和5年度南関町一般会計補正予算(第4号))	〃	承認
議案第42号	南関町社会体育施設等設置及び管理等に関する条例の制定について	〃	原案可決
議案第43号	南関町手数料の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃
議案第44号	令和4年度南関町一般会計歳入歳出決算認定について	〃	認定
議案第45号	令和4年度南関町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
議案第46号	令和4年度南関町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
議案第47号	令和4年度南関町介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
議案第48号	令和4年度南関町浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
議案第49号	令和4年度南関町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	〃	〃
議案第50号	令和4年度南関町下水道事業会計決算認定について	〃	〃
議案第51号	令和5年度南関町一般会計補正予算(第5号)について	〃	原案可決
議案第52号	令和5年度南関町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	〃	〃
議案第53号	令和5年度南関町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
議案第54号	令和5年度南関町浄化槽整備推進事業特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
議案第55号	令和5年度南関町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)について	〃	〃
議案第56号	物品売買契約の締結について	〃	〃
	議員派遣の件について	〃	〃
	委員会報告について「総務産業常任委員会・陳情付託の件」	〃	不採択
	閉会中の継続調査について「文教厚生常任委員会」	〃	原案可決
	閉会中の継続調査について「総務産業常任委員会」	〃	〃
	閉会中の継続調査について「広報常任委員会」	〃	〃
	閉会中の継続調査について「議会運営委員会」	〃	〃

陳情などの取り扱いと結果 (9月定例会分)

不採択 1件

・陳情第3号(令和5年8月23日受理)
会計年度任用職員の処遇改善を求める陳情予算に係る意見書

一般質問

9月定例会では、山口純子議員、井下忠俊議員、中村正雄議員、福山美佳議員、伊藤博長議員、西田恵介議員、境田敏高議員、杉村博明議員、の8名が一般質問を行いました。
一般質問の内容と執行部の答弁は、町立図書館に配置の「会議録」および町ホームページをご覧ください。(9月定例会分は12月に公開予定)

令和5年度 青少年育成作文 優秀賞①

青少年育成推進協議会では毎年、小中学生を対象に作文と標語を募集しています。今年度の優秀作品を紹介します。

私の妹

南関第一小学校 六年

猿渡

奈緒



私には二つがいの妹がいます。妹は、赤ちゃんの時の交通事故で左不全片麻痺というこわい症が残りまし。私は小さかったので、いつもお母さんと一緒にいる妹がうらやましく、さびしい気持ちでいました。少しずつ大きくなるにつれて妹の障がい気づくとも、どうしてお母さんと妹がいつも一緒にいたのが分かりました。妹は左手と左足の訓練のために入院して、病院にお母さんと一緒に居たのでした。まだ幼かった私は、妹ばかり泣くと泣いて、お母さんを困らせていました。そのたびにお母さんは、私に分かるように妹の話をしてくれて、たまには二人でお出かけしてくれました。

は、私にも一緒に手伝いをしてほしい」と言い、私にも妹の介助の方法を教えてくださいました。妹が使いやすい方法を一緒に考えたり、スプーンやはしの工夫をしたりして、妹が上手にできるようになるためのお手伝いを毎日していました。失敗することもいっぱいあったけど、お母さんが、「色々ためして一番良い方法を見つけようね。」と二人で相談するのは、すごく楽しい時間です。

妹は感情のコントロールがとて難しい時があります。急におこったり泣いたり、パニックになり、空気が読めずさわいだりします。その時は、私もどうしたらいいか分からずおこってケンカになります。そんな私をお母さんはやさしく、だっこして話を聞いてくれて、妹と仲直りをする方法を教えてくれます。

お母さんは、妹と上手につき合うには、私が妹の事を理解することが大事だと言います。

私には、まだ分からないことがいっぱいあつて妹なんかいらないうちで、私自身も、私をたよつてきてくれる妹が、とてもかわいく思うこともあります。

これから、いっぱいケンカすると

思うけど、一緒に大きく成長して妹の番の理解者になつていけたらいいなと思います。

今、思うことは、お母さんが私たちの事をいつしようけんめい育ててくれているんだと感じることです。妹との事や私の事、これからの事、私たちが困らないようにがんばつてくれているんだと思いました。

お母さんは、兄、妹と協力していくことの大切さや、私の声かけや工夫で、妹と上手に生活していく事が出来ること事を教えてくれます。

まだ難しい事や理解ができない事もありますが、お母さんと兄、妹といっぱい話を楽しくしてみんなでがんばつていけたらいいなと思います。

私にとつて妹は、とても大切な人です。私を成長させてくれる一人です。

どんなことでも限界突破

南関第二小学校 六年

坂田

玲



ぼくは、今年、白団の団長になった。ずっとあこがれてきた団長。なれた時には、とてもうれしかった。

いよいよ応援合戦の練習が始まった。最初は、みんなの意見が合わずに、ただ時間だけが過ぎていった。ぼくは、たくさん意見を出したが、どれもみんなの思いとは少しずつ合っていなかった。

「どうしたらいいんだろう。」家でたくさん考えた。すると、自分で「とてもいい。」と感じる案を思いついた。さっそく学校で話してみた。

「これいいね。」みんなが次々と賛成してくれた。ぼくは、家でたくさん案を考えてきてよかった。

応援合戦の全体の流れが決まり、二週間必死に練習をした。朝、昼、放課後の時間も応援合戦の練習にたくさん使った。練習するにつれて、自分もみんなもだんだんと上達していることを実感した。苦労したのは、二年生から五年生の人々に応援合戦でどのようになことをするのか、どんな動きをしてもらうのか教えることだった。初めは、一年生をまとめるのが難しかった。また、なかなか覚えしてもらえなくて、どうしたら覚えたらいいのか白団のみんなでもたくさん考えた。

「動きを実際に見せたらどうか

みんなの前でやってみると、覚えてもらうことができた。一年生から五年生の動きがそろったときは、とてもうれしかった。

ぼくは、野球も塾も行っているから、毎日の練習がとてみきつかった。でも、「小学校最後の運動会なのに、あきらめるわけにはいかない。」と自分に負けずがんばった。時には、夜遅くまで考えて、寝不足になつてしまつた日もあった。

そして、運動会本番になった。ぼくは、三日前から股関節が痛くなり、歩くのすら辛くなつていった。病院に通い、何とか当日は出られるようにしてもらった。

「痛くても全力で走ろう。運動会が終わつて松葉杖になつてもいい。」と決心していた。本番は、少しの痛みがあったものの、走ったり、ダンスをしたりすることができた。

そして、みんなでたくさん悩んだ応援合戦。失敗することができなくて、練習通りにやり切ることができた。一年生から五年生も応援に合せて拍手をしたり、大きな声を出したりしてくれているのが後ろから聞こえてきた。そのしゅん間白団が一つになった。

ぼくは、この運動会を通して、みんな協力すれば、どのようなことでも乗り越えられるということを学んだ。最後まで全力を出すことができたので、最高の運動会になった。